

老人保健福祉

アンケート結果

2

夏の交通安全運動

「交通ルール

守ってつくろう

夏の思い出」

運転にもゆとりが大切

行楽地へのお出掛けはゆとりをもった計画を立て、長時間・長距離の運転は避けて、早めに休憩をとりましょう。

子どもにも注意を向けましょう

子どもが出かける前に一声かけてあげるなどして子どもに注意を向けましょう。車の運転中も子どもの動きに注意して、思いやりと早めのブレーキを心がけましょう。

夜間も注意が必要です

夜に外出する時には、運転手が早く気づくように、夜光タスキなどの反射材を身に付けましょう。

飲んだら乗ってはいけません

地域の夏祭りなどに車で出かけ「近所だから大丈夫」と一杯飲んでまた運転して帰る。そんなことは絶対にしないでください。

■問い合わせ 市民課地域振興係 (TEL) 0254



先月号に続き、今年3月に市が行った「老人保健福祉計画及び介護保険事業計画」の改正に伴うアンケート調査の結果報告書からご紹介します。

▽介護予防のためのトレーニングや講習への希望は？（一般高齢者への問い、複数回答可）

「器具を使わない筋力向上トレーニング（軽い体操など）」（約31%）、「低栄養にならないための食に関する講習会や献立づくり」（約20%）などでした。

▽トレーニングや講習の開催場所です望ましいのは？（一般高齢者への問い）

「身近にある公民館・公園など」（約47%）、「健康センターや運動公園、ゆららなどの設備の整った施設」（約19%）▽力を入れるべき高齢者施策は？（一般高齢者への問い、

複数回答可）

「介護をする家族の負担を軽減するための家族介護支援対策の充実」（約33%）、「寝たきりや認知症にならないための介護予防対策の充実」（約29%）、「健康診断や健康教室などの健康づくり対策を充実する」（約29%）。

▽介護保険料について

一般高齢者は「高いと思う」（約49%）、「適当だと思う」（約36%）ですが、在宅介護認定者は「高いと思う」（約33%）、「適当だと思う」（約50%）でした。▽あなたが利用している介護サービスは？（在宅介護認定者への問い、複数回答可）

「デイサービス」（約49%）、「ホームヘルプサービス」（約27%）、「福祉用具貸与」（約18%）▽今後在宅で介護を続けるには、どのような支援が必要と

思われますか？（在宅介護認定者への問い、複数回答可）

「介護保険やその他の福祉サービスを充実する」（約46%）、「身近な地域で介護や生活のことについて気軽に相談できる体制を整備する」（約30%）、「介護保険やその他の福祉サービスなどについて分かりやすく情報を提供する」（約29%）

▽施設入所を希望した理由は？（施設入所者への問い、複数回答可）

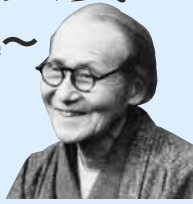
「家族はいるが仕事の都合や心身の状態により十分に介護ができない」（約51%）、「常時の介護や見守りを必要とするから」（約48%）、「介護してくれる家族がいらないから」（約30%）

■問い合わせ 高齢福祉課 介護保険係 (TEL) 0265

第3回

清水比庵大賞

～短歌作品募集～



清水比庵(1883～1975)歌・書・画の3芸に独自の境地を開いた、本市出身の名誉市民清水比庵にちなんで、平成13年から隔年で短歌を募集しています。

◆募集作品

短歌2首を一組とし、何組でも応募できます。ただし、未発表の作品に限ります。

◆応募資格

応募時に18歳以上であること

◆投稿料

2首一組で1000円

※投稿料は郵便小為替か現金書留で作品と一緒に送付してください。

◆応募方法

400字詰め原稿用紙(B4判)を使用。右半分は郵便番号・住所・筆名・本名・年齢・性別・電話番号、左半分は作品(短歌2首)を書いてください。

※文字はかい書で、漢字にはふりがなを付けてください。

◆募集締め切り

8月31日(木) (当日消印有効)

◆賞および賞金

- 清水比庵大賞…1名、10万円
- 特選…2名、各5万円
- 奨励賞…3名、各2万円
- 入選…30名、記念品

※応募者全員に清水比庵作品ポストカードを贈呈

◆選者

丹内福寿、秋葉貴子、増渕梨雨、伊藤美代

◆発表

平成17年11月中旬

■応募と問い合わせ

高梁市文化交流館内
「清水比庵大賞」事務局
(〒716-0043
高梁市原田北町1203-1、
TEL②0180)

第1回

高梁市文学選奨作品を募集します

文学の創作活動を奨励し、豊かな地域文化の振興を図るため、高梁市文学選奨の作品を募集します。

◆募集期間

7月15日(金)～9月15日(木) (必着)

◆応募資格

高梁市内に在住または学校・職場に通学・通勤している人。年齢は問いません。

◆応募規定

1. 各部門とも未発表の創作作品とします。
2. 用紙は400字詰め縦書き原稿用紙(A4判)を使用し、かい書で丁寧に書いてください。(ワープロ原稿も可)
3. 各部門の応募点数および原稿枚数等は、次のとおりです。
 - (1) 各部門の応募は1人1点とします。(ただし、複数部門への応募は可)
 - (2) ①小説・随筆等 1編 (原稿用紙100枚以内)
 - ②詩 1編
 - ③短歌 10首
 - ④俳句 10句
 - ⑤川柳 10句
 - ⑥童謡作詞 1編
4. 応募用紙に所定事項を明記し、作品に添付してください。原稿には、題名以外、住所・氏名等を記入しないでください。※応募用紙は社会教育課または、各分室にあります。また、市のホームページのトップページからダウンロードできます。
5. 応募作品については、高梁市教育委員会および高梁市文化連盟の出版物に無償で掲載します。応募原稿は、一切返却しません。
6. 短歌、俳句、川柳についても題をつけてください。
7. 短歌については、上の句と下の句とを書き分けなくてください。

◆入賞および賞

各部門入選1点、佳作18点以内(入選者、佳作者には賞状と賞品を贈ります。)

◆表彰、その他

表彰式を11月に行い、入賞作品および優秀作品については、作品集「高梁の文学」に掲載します。

■応募と問い合わせ 社会教育課文化係 (〒716-0111 高梁市成羽町下原967、TEL④9083)